

文化的対話によって共存共栄をめざそう

費君清

私は最近薦められて『アジア文化』第31号以降の玉稿を拝読しました。そこで非常に啓発され鼓舞された思いを読者の皆様とわかち合いたいと思います。

アジアは世界七大陸の中で最も面積が広く、最も人口が多い地域であり、多種多様な文化や、宗教、そして芸術を有しています。悠久の時の流れの中で、アジアの国々は独特の歴史や文化を生み出し、世界の文明の進歩と文化の繁栄のために大いに貢献し、人類の思想・文化の中でも、欠くことのできない貴重な宝となっています。

文化とは、民族の生存と発展における要であり、民族の結束力と想像力の重要な源であり、総合的な供促力と国家の継続と発展のための重要な土台なのです。今日のアジアの国々はすでにそのことを十分に理解しているので、文化の創成を非常に重視しています。国の研究機関及び専門家も大いなる情熱をもってそれぞれの文化を発展させています。こうした過程において、多くの専門家らは、異なる国々の文化には、実は互いに通じる部分があるということに気づき始めている。もちろん、異なる国家、異なる民族はそれぞれ独自に発展してきた歴史と地域的特性ゆえに、その後しだいに異なる

思想観念、審美基準、学術傾向、研究方法を作り上げていきました。さらには、異なる文化概念と文化発展によって、明らかに他国と異なる文化的特徴や地域的差異を生み出しました。しかし、現在のグローバル化の流れの中で、より広くより深くアジアの国々の文化・学術の交流を通して各国間の相互理解を進め、その理解の上に、さらに異なる文化概念と文化発展をとげたもの同士においても互いに理解し合い、尊重し合い、認め合うことが非常に大切です。特に、アジアの国々は山海を共有し、人情も互いに類似しているので、文化・学術においても相い補い合い、受け入れ合えば、それぞれの国や民族が自身の文化の活力や創造力を高めることができ、各国の異なる文化がともに進歩し繁栄していくことができるはずです。文化・学術の対話と交流の目的は、個性や差異をなくすためではなく、偏見とわだかまりを取り除き、理解を得、互いを知り、これからのアジア文化の創成を推し進めるためなのです。

『アジア文化』は2014年に正式に復刊されました。「アジアの学術交流のかけ橋として、アジアの学者らの知識を凝集し、アジアの調和と発展を推進する」というその刊行趣旨は、まさ

に日・中・韓などの熱意ある学者らの切なる求めに応えるものである。『アジア文化』の復刊は時宜に適い、新しい時代の潮流に乗ったものであると考えます。具体的に言えば、一つめに、文化・学術の舞台を作り、アジア各国の専門家を集め、広汎な思想交流や学術対話及び共同研究の場を提供することによって、視野の狭い独断的な研究を避けることができました。二つめに、文化・学術の窓口を作り、各国の専門家らの思想の火種や各国の文学・歴史・哲学・言語学・政治学・宗教学など多方面から得た学術的な研究成果をそこに示すことで、各人の異なる風格や特徴、幅広い研究者の学術的視野を知らしめることができました。三つめに、文化・学術のかけ橋となること

で、各国の文化・学術について交流し合い学びあうことができ、異なる文化間においても互いに理解し合い、啓発し合い、認め合えるようになりました。

読者の皆様は、復刊以降の編集・出版の状況から、『アジア文化』がこの刊行趣旨をしっかりと体现していることがわかるでしょう。ですから、私は心より祝福の意を表し、並びに『アジア文化』が引き続きこの趣旨に沿って刊行され、未永くそしてよりよいものになっていくことをお祈り申し上げます。

2019年4月30日

(勤務先：浙江越秀外国语学院 党委書記)

訳：木村奈津子

以文化对话促进共同繁荣

费君清

承蒙推荐，我最近拜读了《亚洲文化》第31期以来的一部分精彩论文，很受启发，也很受鼓舞，并有一些感受，在这里提出来与大家分享。

亚洲是世界七大洲中面积最大、人口最多的一个洲，也是有着丰富多样文化、宗教和艺术的一个洲。在悠久的岁月长河中，亚洲各国都创造出了富有自身特色的历史和文化，为世界的文明进步和文化繁荣作出了重要的贡献，成为人类思想文化宝库中不可或缺的珍宝。

文化是民族生存和发展的精神命脉，是民族凝聚力和创造力的重要源泉，是综合竞争力和国家持续发展的重要支撑。当今亚洲各国都已经充分认识到这一点，从而非常重视文化建设。各国研究机构和专家学者也都在以极大的热情开展着各自的文化建设。在这一过程中，越来越多的专家学者发现，不同国家之间的文化其实是有很多相通之处的。虽然，不同国家、不同民族都会由于各自独特的发展历史和地域特点，逐渐形成了不同的思想观念、审美标准、学术趣向、研究方式方法，以及不同的文化观念和文化流派，并由此构成了明显的与他国不同的文化特色和地域差别。但是，在目前全球化的潮流中，通过进一步扩大和深化亚洲各国间文化和学术的交流，来增进各国之间的相互了解，在了解的基础上，再争取让不同的文化观念和文化流派之间实现相互理解、相互尊重和相互认同，这是十分必要的。特别是亚洲各国山水相依、人情相近，在文化和学术上完全可以相互取长补短、兼容并蓄，这样将会非常有利于各国各民族增强自身文化活力和创造力，实现各国不同文化的共同进步与繁荣。因此，文化和学术的对话与交流，目的不是为了消除个性和差异，而主要是为了消除偏见与隔阂，取得理解、达成共识，进一步推动面向未来的亚洲文化建设。

《亚洲文化》在2014年正式复刊，它的“搭建亚洲学术交流平台，凝聚亚洲学者共识，推进亚洲和谐发展”的办刊宗旨，正是回应了中日韩等国一些热心学者真切的吁求。我认为，《亚洲文化》的复刊恰逢其时，完全顺应了新时代的潮流。具体而言，一是它作为一个文化学术园地，集聚了一批亚洲各国的专家学者，可以为大家提供一个十分广阔的思想交流、学术对话和相互合作的平台，从而避免学术研究中孤陋寡闻、各自为战的弊端。二是它作为一个文化学术窗口，可以在此展示各国专家学者的思想火花和各国文学、历史、哲学、语言学、政治学、宗教学等方面取得的学术研究成果，让人领略他们各自不同的风格特点，拓宽研究者的学术视野。三是它作为一座文化学术桥梁，

可以沟通和借鉴各国的文化学术，增进不同文化之间的相互了解、相互启发、相互认同和相互促进。

读者们可以从复刊以来的编辑出版情况，明显地看到《亚洲文化》已经很好地体现了这一办刊宗旨。因此，我对此表示真诚的祝贺，并祝福《亚洲文化》沿着这一宗旨不断地前行，走得更远，走得更好。

2019.4.30

（作者单位：浙江越秀外国语学院 党委书记）